

平成24年度補正予算（第1号）[経済対策]による 国立大学法人施設整備費補助金の採択について

日本経済再生に向けた緊急経済対策により決定された補正予算にて、歯学部関連として下記の2事業が採択されました。

◇行動科学を基盤とした質の高い口腔保健・医療 人育成事業

少子高齢化、歯科疾患構造の変化、国際標準化への対応が求められる中、歯学教育の質の担保を確保する上で最重要課題として歯科技能教育の充実があります。しかし、これまで歯科技能教育は学生－教員間の徒弟的な経験に基づく伝承的な学習様式による教育であり、科学的・客観的に裏付けられた指導方法の確立・実施が望まれています。本事業では口腔保健・医療に関わる臨床技能教育に新たにエルゴノミクス概念を取り入れ、現代ニーズに対応した口腔保健・医療に関わる技能教

育の更なる高度化、新たな研究分野の開拓を行います。本事業により、歯学部技能教育の高度化、高い質の担保が図れるとともに、データの蓄積による歯科臨床技能教育の標準化および動作学的解析データの社会への還元により要介護者のQOL向上に寄与することが期待されます。

◇総合研究棟改修（歯学系）（第2期工事）

平成24年度概算要求採択事項である歯学部校舎B'、C、D棟の大型改修に続き、この度の補正予算で平成25年度中に歯学部校舎A、B棟の改修工事が実施されることとなりました。計画ではA棟には主として口腔外科に関連する分野が再配置され、B棟には学生技工室を含む臨床系基礎実習が配置、整備されることとなっています。

平成25年度概算要求事項の採択について

この度、平成25年度政府予算案が決定されたことにより、文部科学省より、以下の予算の内示がありました。

◇プロジェクト分

- ・口腔保健医療に対応した国際イニシアチブ人材育成プログラム（継続事業）

平成24年度文部科学省事業「大学間連携 共同教育推進事業」の採択について

文部科学省事業「大学間連携共同教育推進事業」は、国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、優れた取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的としています。この度、新潟大学歯学部を基幹校、東北大学歯学部、広島大学歯学部を連携校として、また日本歯科医学教育学会をステークホルダーとして申請した「連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム」（事業実施予定期間：平成24年度～28年度）が採択されました。本事業は歯学部分野における教育の高度化を目指し、将来の歯科医療の質の保証、歯学教育の国際標準化への適合を目指す取組です。この取組の目標は1. 臨床能力

を具備した歯科医師の育成、2. 次代を担う歯学研究者の養成、3. 国際性と社会性の涵養、4. 評価と教育能力の開発の4点である。これまで構築・運用してきた教育・研究ネットワーク機能を活用し、3大学の特色ある教育資源を提供し合い、3大学が対等に教育改善を進める「共同教育プラットフォーム」を設置し、事業の企画、運営の実質としてFDの開催や教務担当教員の相互派遣を主導し、優れた歯学教育教材の開発・提供・実践、改善、問題発見・解決型学習の展開、特色ある教育の提供（相互乗り入れ講義）、学生の交流実習（歯学部版エクスターンシップ）、客観的評価方法の開発を行うものです。本事業経費により特任教員2名、非常勤事務職員1名が採用、配置されました。

平成24年度科学研究費補助金の 採択状況について

本年度歯学系の科学研究費補助金の採択率を以下に示します（カッコ内は昨年度実績）。

	新 規		新 規 + 継 続	
	採 択 率		採 択 率	
	採択件数／応募件数	採択件数／教員数	採択件数／応募件数	採択件数／教員数
院（歯）	49.1 (46.9)%	30.3 (33.7)%	73.1 (67.0)%	85.4 (77.5)%
病院（歯）	54.5 (48.1)%	29.3 (31.0)%	76.2 (68.9)%	78.0 (73.8)%
全 学	33.0 (29.9)%	21.3 (20.8)%	55.5 (51.1)%	53.8 (50.9)%

特任教員、技術職員に係るもの、スタートアップは除く

総括すると、昨年以上の採択率を示し、特に教員採択率でみると、大学院では85.4%、病院

（歯科系）78.0%の教員採択率（採択件数／教員数）となりました。採択金額ベースでも2億8千

万円（平成23年度約2億1300万円強）を超えました。歯学部の課題としては、分野間および個人間の格差が拡大しており、特に採択率0%の分野から100%超の分野までが混在すると共に、大型種目（基盤研究（S、A）、若手研究（A））の未申請や不採択があります。

基盤教育研究経費の削減、校舎大型改修のため

の留保が続く中で、外部資金の獲得のさらなる努力をお願いしたいと思います。

採択課題名、採択者名はhttp://www.niigata-u.ac.jp/research/10_research_110.htmlで閲覧することができ、全国の研究課題目等の採択情報は科学研究費補助金データベース <http://kaken.nii.ac.jp/>で閲覧できます。

総合研究棟（歯学系：歯学部校舎）改修に伴う移転について

歯学部校舎大型改修に伴う移転作業が1月末に終了しました。平成24年11月の歯科診療室の医歯学総合病院新外来棟への移転、歯病跡地の整備後、歯学部事務室を皮切りに、講義室、学生ロッカー一室関係、C棟に位置していた各教育研究分野、売店の移転作業を行いました。新たな講義室は改修

した旧歯科総合診療部診療室に設置し、歯学部同窓会会員のご芳志により、講義机、椅子（240人分）を整備しました。ここに、紙面を借りて、浄財を賜った歯学部同窓会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。なお、歯学部事務室は旧歯科系診療棟外来事務室に移転しました。



同窓会会員のご芳志により整備された講義机、椅子

総合研究棟（歯学系：歯学部校舎）改修工事（第1期）について

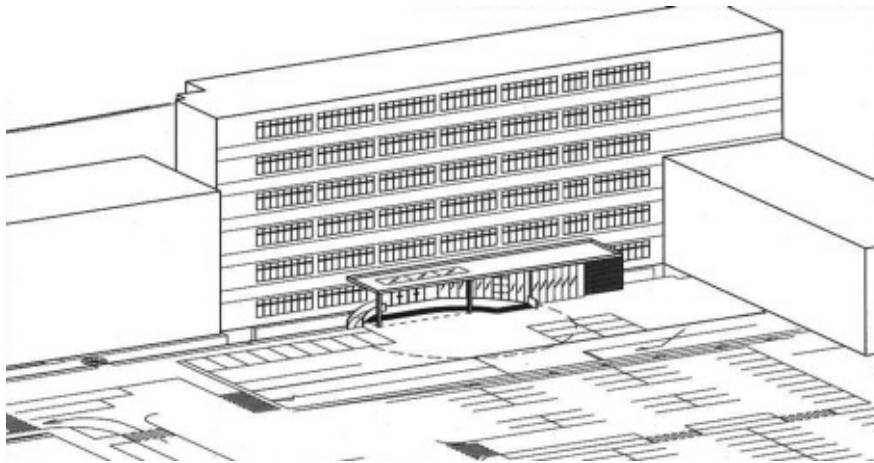
大型改修に伴う移転作業終了後、歯学部校舎B'、C、D棟の改修工事が始まりました（施工業者：大石組）。平成25年7月末の完成を目指します。工事中は教職員、学生諸君には騒音等、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご配慮のほど、よ

ろしくお願い致します。

第1期工事では教員研究室、事務室、講堂、第一講義室の改修に加え、学生アメニティスペース（旧歯学部事務室）、第7講義室（旧口腔生命福祉学科教員室）が新設されます。



歯学部校舎改修外観イメージ図（北面ファサード）

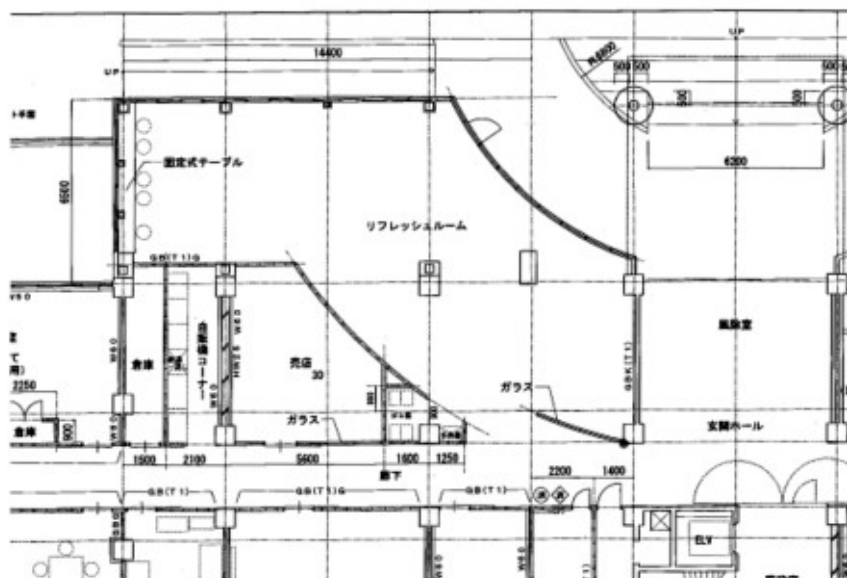


歯学部校舎改修エントランスイメージ図

歯学部校舎改修計画では、現在のエントランスを大幅にリニューアルし、入口右手には学生のアメニティスペースを設けることで、学生の方々

の教育環境を整備する予定です。

また、学生講義室もリニューアルを図り、学生動線にも考慮した計画を進めています。



アメニティスペース内部設計案

※これらのイメージ図については、計画段階のものであり、実際の設計とは変更となる場合があります。

学生のアメニティスペースは外側外壁をガラス面にすることで明るく清潔な空間で学生がリフ

レッシュできるよう計画を進めています。

タイ・チェンマイ大学歯学部との 姉妹校締結について

これまで、タイ・チェンマイ大学歯学部と本学歯学部は、ショートステイ・ショートビジット（SSSV）事業（JASSO）、若手研究者招聘事業（JSPS）により、若手研究者、学部学生の交流を行ってきました。両歯学部間の交流の更なる発展を期待して、チェンマイ大学歯学部から姉妹校締結の希望があり、検討を続けてきました。歯学部教授会での審議を経て、平成25年2月18日に、前田健康歯学部長と魚島勝美副歯学部長（国際交流担当）がチェンマイ大学歯学部を訪問し、Thongnard Kumchai チェンマイ大学歯学部長と交流締結書に調印を行いました。

この姉妹校締結により、さまざまな競争的外部資金の申請が可能となるとともに、学部学生から

若手研究者に至るまでの海外交流が期待されます。

